

局、會員三部に別れて、公務後日々保育所に出張することとなりたり、又中には會自ら保育所を造らんかと言へるもありたり (し、つ 報)

雜 報

女子高等師範 國語體專修科生の募集

別項廣告の通り、尙便宜のため試験心得及履歷書式を左に掲載すべし。

國語体操專修科入學志願者心得

一、出願期限及手續

出願期限ハ明治三十八年三月二十日トス

入學願書ニハ履歷書及本年二月一日以後ノ證明ニ係ル戸籍ノ抄本ヲ添ヘテ差出スベシ(入學願書及履歷書々式ハ規則所定ニル)

一、道廳府縣立師範學校卒業生ニシテ服務年限中ニアル者及現ニ奉職中ノモノハ其所轄地方長官ノ許可書ヲ添ヘテ差出スベシ

一、志願者ハ本年四月一日ノ調ニテ滿十七年以上三十年未滿(明治

八年四月二日以後全二十一年四月一日以前ニ出生ノ者)ニシテ夫テ有セザル者トス

一、募集人員ハ三十名トス

一、入學試験ハ後記ノ日時割ニ據リ當校ニ於テ施行ス
受験者ハ同日午前七時三十分マテニ出校スベシ

國語体操專修科入學試験日時割

午前八時ヨリ全十時マテ	四月四日 (火)	四月五日 (水)	四月六日(木)
午前八時ヨリ全十時マテ	体格検査	國語 文法 解釋	午前八時ヨリ全九時マテ
午前十時ヨリ全十二時マテ	音樂 樂器 唱歌 使用	漢文 解釋	午前九時ヨリ全十時マテ
午後一時ヨリ	體操 徒手	國語 作文	午後九時ヨリ全十時マテ
		國語 作文	午後十時ヨリ全十二時マテ

一、詳細ハ二月三、四ノ官報若クハ本校ニ就キ承知スベシ

女子中等教育講習科

神田橋外なる東京府教育會内東京女學講習會は、從來女子師範學校、高等女學校に入學を志望するもの、爲めに特に受験に要する學科目を教授し來りしが、今回女子師範學校、高等女學校の家事科

裁縫科の教員たらんとするもの、爲めに、文部省の檢定試験に要する適切なる學科目を選び、講習を開始し本年七月を以て結了の豫定にて、講師は塚本はま子(家事科)須磨さた子(裁縫實習)瀨下てつ子(裁縫教授)新富藏(家事應用實踐化學)東基吉(教育)佐藤球(國語)岡田起作(習字)の諸君なりと云ふ

東京保姆養成所

幼稚園保姆養成の目的を以て、本月より開設せらる。場所は、神田區一ツ橋幼稚園内、六ヶ月を以て、完了すべく、修業年限四ヶ年の高等小學卒業の者を入學せしむべき由。時間は、毎日、午後三時半より六時半まで、月謝は一圓、入學せんとする者は、履歷書及入學金三十錢を添へて全所に申

し込むべしとの事なり。

會 報

常 會

明治卅八年二月廿五日第三十六常會を華族女學校幼稚園に於て開く、本日は特に講演を依頼せず各自の實驗談のみと定めたり、會員山田氏は某外國人の家庭に於ける兒童の同情に富める狀を話され、守山氏は同情に就き話を續けられ「セドリック」の話とて理想の子供の行爲に就き面白き話あり、次は後藤氏の幼兒の病氣を豫知する方法につき經驗談あり、岸邊氏平岩氏同問題に付き實驗を話され次に松村氏は「我子の惡德」なる書物を丁寧に紹介せられ最後に一同手を取りて新案遊嬉を交換し面白く散會したり、

入 會 三十七年一月より 三月に至る

- 長門國阿武郡徳佐村 田村唯熊
- 神戸市本通四丁目十一番ノ二、宮岡岩之助方 宮 飼 や す
- 東京府千住幼稚園内 本會事務所申込 園 田 喜 代

- 横濱市足曳町二ノ一、私立吉田幼稚園 紹介東基吉 長谷川りん
- 紹介吉注幾久江